

令和元年度 熊本大学大学院自然科学研究科建築学専攻修士論文・修士設計発表会プログラム

計画系 令和2年2月14日(金) 午前9時より 工学部2号館211教室

一題目15分(発表10分, 質疑5分) No.12からは建築設計系

No	開始	発表者	指導教員	論文題目	
1	9:00	中嶋 泰史	吉武	ヘレニズム都市ペラの王宮に関する研究 —建物Iの遺構と建築部材の分析—	
2	9:15	荒巻 充貴紘	本間	ミャンマーにおける農村集落の水害脆弱性評価手法に関する研究 —エーヤワディー管区およびモン州を事例として—	
3	9:30	応 蓉蓉	本間	ビッグデータに基づいた賃貸空き室の現状分析と活用に関する研究 —熊本市を事例として—	
4	9:45	曾 佳苗	本間	地下鉄沿線の住宅価格決定モデルに関する研究 —中国杭州市の地下鉄1号線を事例として—	
5	10:00	中村 泰斗	本間	VR技術を活用した災害避難場所設営シミュレーションに関する研究	
6	10:15	古川 勇斗	本間	公園計画におけるVR・ARを用いたデザイン検討支援技術に関する研究	
7	10:30	古澤 英子	本間	地方都市における低利用地の発生要因と利活用に関する研究 —熊本市中心市街地を事例として—	
8	10:45	柳 夢	本間	ANN-CAに基づく土地利用の将来予測に関する研究 —中国杭州市を事例として—	
9	11:00	樺 浩太	大西	VRを用いた4Dキャンパスマスタープランの構築に関する研究	
10	11:15	福岡 怜大	大西	遺伝的アルゴリズムを用いたBIMによる応急仮設住宅の配置エリア形状の最適化に関する研究	
11	11:30	角銅 亮祐	大西	部材構成に着目したBIMによるプレハブ応急仮設住宅の自動設計に関する研究	
12	11:45	甲斐 悠加	田中	住みながらの更新が可能な集合住宅の提案	7枚
13	12:00	澤田 拓巳	田中	虚構空間の表現 —微地形の中に見出す建築を通して—	12枚
14	12:15	武井 碩毅	田中	奥行のある風景を備えた災害公営住宅団地の設計	7枚
15	12:30	長家 徹	田中	建築言語を家具に読み替える —介護老人保健施設の設計—	7枚
16	12:45	町田 陽子	田中	コワーキングスペースにおける居場所と劇場性	7枚

令和元年度 熊本大学大学院自然科学研究科建築学専攻修士論文発表会プログラム

環境系・構造系 令和2年2月14日(金) 午前9時より 工学部2号館212教室

一題目15分(発表10分, 質疑5分)

No	開始時刻	発表者	指導教員	論文題目
1	9:00	安田 匠汰	山成・友清	強地震を受ける鉄骨置屋根体育館の偏心率が地震応答に及ぼす影響に関する研究
2	9:15	矢野 貴大	山成・友清	強地震を受ける鉄骨置屋根体育館の地震被害抑制に関する研究
3	9:30	佐伯 應次郎	越智	平成28年熊本地震で被災した鉄骨置屋根体育館のRC架構部の変形特性
4	9:45	永井 智彬	越智	角形鋼管部材の履歴性状と吸収エネルギー
5	10:00	松下 健治	越智	繰返し軸力を受ける円形鋼管部材の座屈後挙動に関する研究
6	10:15	村上 勇樹	越智	震度6弱の地域で損傷を受けた屋内運動場の構造特性の比較
7	10:30	四元 伸哉	越智	鋼構造中層建築の突出部における設計方法と地震被害分析
8	10:45	上村 昌平	村上	CFRP ロッド・メッシュ埋設断面増厚工法によるRC梁の構造性能に関する研究
9	11:00	杉田 宗健	村上	CFRP ロッド埋設による木質構成パネルの曲げ補強に関する研究
10	11:15	久保 雄暉	村上	スラグ石こう系材料を用いた耐硫酸コンクリートの開発研究
11	11:30	北口 陽平	武田	各種リサイクル資材を活用したモルタルの物性
12	11:45	李 昊天	武田	セメント系材料を用いた耐硫酸コンクリートの開発研究
13	13:00	方 航大	佐藤	常温硬化型超高強度繊維補強コンクリートの調合開発
14	13:15	白 皓	佐藤	超高強度繊維補強コンクリートの調合設計 ～けい砂の粒径と粒度・繊維長と混合比率の影響～
15	13:30	城戸 耕平	川井	保育空間における子どもと保育士の発声に対する吸音の効果の検証
16	13:45	島川 千輝	川井	実験室再現におけるサウンドスケープの主観評価
17	14:00	丸山 直也	川井	多群会話空間における音環境的快適性に関する研究
18	14:15	山根 竜之介	川井	保育室で話を聴く子どもの集中度に対する吸音の効果の検証
19	14:30	余宮 颯太	川井	特別支援教育の場における音響設計の可能性
20	14:45	大塚 望央	高田	実測とCFDによる環境特性の把握に基づく風環境を改善する街区形状の提案 ー熊本市古町地区を事例としてー